

3 一貫制博士課程における中間評価及び修士の学位取得について

(1) 中間評価

本学の一貫制博士課程では、一貫制の課程にしてはじめて可能な教育研究指導の連続性と一貫性をより有効に機能させるために、学生に対して中間評価を行っています。

中間評価とは、大学院博士課程の在学期間中において、学生が入学以後に授業と研究指導によってどのように成長し、成果をあげてきたかを評価すると同時に、研究者としての素質と能力を改めて調べることを目的としており、中間評価の合格者のみが博士論文を提出し課程修了することが認められます。

なお、中間評価の実施方法及び時期については別表のとおり定められています。所属する教育組織の中間評価の実施方法、時期等を確認し中間評価を受けてください。

(2) 修士の学位

本学一貫制博士課程（医学を履修する課程及び編入学者を除く。）では、2年以上在学し、教育組織の定める履修方法に従い30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受け修士論文等を提出し、その審査及び試験に合格した場合は、修士の学位を取得できます。

なお、修士の取得をもって中間評価合格とする教育組織があります。

【2020 年度以降入学者用】

教育組織		学位
理工情報生命学術院 システム情報工学研究群	エンパワーメント情報学プログラム	修士（人間情報学）

【2019 年度以前入学者用】

教育組織		学位
グローバル教育院	エンパワーメント情報学プログラム	修士（人間情報学）*

上記のほか、学際的な分野を専攻した者にあつては、修士（学術）とする場合があります。
詳細については、指導教員に確認してください。

*2018 年度以降に入学した学生はグローバル教育院のエンパワーメント情報学プログラムが授与する修士の取得対象となります。

一貫制博士課程中間評価実施方法（令和2年度以降入学者用）

研究群	プログラム 学位	中間評価の実施	中間評価の方法	中間評価不合格者に対する指導	申請の条件	要提出物及びその仕様	申請日時	審査方法	その他
システム情報工学 研究群	情報システム 学位プログラム	原則として、第2年次において中間評価を受けなければならない。本プログラムの中間評価は、「博士論文研究基礎力審査」(QEと呼称)として行う。	書類審査、口頭発表及び面接試験による可否	プログラム運営委員会において検討する	所定の科目について32単位以上修得見込	特定課題研究報告書	12月～1月	委員会(主査1名、副査2名以上)による審査。特定課題研究の審査及び面接試験により実施。 システム情報工学研究群運営委員会の会議での決定。	3年次編入学者で、他の大学院等において修士の学位を取得した者、またはQEに合格した者は、中間評価に合格したものと扱う。 QEに合格した場合に修士の学位を授与する。
人間総合科学研究群	医学学位プログラム	原則として、第3年次において中間評価を受けなければならない。	中間研究の評価による可否	中間研究報告書を再提出し、随時再審査を申請することができる。	18ヶ月以上在学し、所定の科目について30単位以上修得見込。	中間研究報告書	4月入学者:2年次の3月31日(当日が土曜日又は休日の場合は、その前日)締切 10月入学者:2年次の9月30日(当日が土曜日又は休日の場合は、その前日)締切	学位プログラム中間評価審査委員会(主査1名、副査3名)による審査。中間研究発表会における研究報告及び質疑応答により実施。 医学学位プログラム運営委員会での決定。	合格者のみが博士論文を提出することができる。
人間総合科学研究群	ヒューマンバイオリジ 学位プログラム	原則として、第2年次において中間評価を受けなければならない。本プログラムの中間評価は、「第一次適性試験」(QE1と呼称)として行う。 In principle, students must take the interim assessment as the Qualifying Examination 1 (QE1) during the second year of the program.	書面審査及び口頭発表と口頭試問による可否 Students will be evaluated on the written research or business proposal, oral presentation, and Q&A session during QE1.	プログラム運営委員会において検討する。 If the student does not pass the QE1, HBP Steering Committee's meeting will discuss the outcome and guide the student.	2年次終了時まですべての必修科目を含めて60単位以上修得見込。 Students are expected to earn at least 60 credits, including all the compulsory subjects, by the end of their second year.	3年次以降に行う学位論文研究計画書または企画書1部 As a part of QE1, students must submit a dissertation plan or business proposal to be conducted after their 2nd year.	4月入学者:2年次10月末締切 10月入学者:2年次4月末締切 For those enrolled in April (Spring), students must submit the QE1 application by the end of October of their 2nd year. For those enrolled in October (Fall), students must submit the QE1 application by the end of April of their 2nd year.	QE1実施委員会(主査1名、副査2名を含む3名以上)による審査。第一次適性試験(QE1)における研究計画の発表及び質疑応答により実施する。 プログラム運営委員会での決定。 QE1 committee (1 chair and two other members) will evaluate the written proposal, oral presentation, and Q&A session. HBP Steering Committee's meeting will make a pass/fail decision.	合格者のみが博士論文を提出することができる。 Only successful QE1 applicants may submit a doctoral dissertation.

一貫制博士課程中間評価実施方法（令和2年度以降入学者用）

研究群	プログラム 学位	中間評価の実施	中間評価の方法	中間評価不合格者に対する指導	申請の条件	要提出物及びその仕様	申請日時	審査方法	その他
グローバル教育院	ヒューマニクス学位プログラム	原則として、2年次末までに中間評価を受けなければならない。本プログラムの中間評価は、「適性試験」(QEと呼称)として行う。 By the end of the second year of the program, in principle, students must take the interim assessment as the Qualifying Examination (QE).	書面審査及び口頭発表と口頭試問による可否 The QE shall be assessed by the contents of a research proposal; and the performances of oral presentation and its Q&A session.	プログラム運営委員会において検討する。 Advice and support for unsuccessful QE applicants must be considered and discussed at the Humanics Steering Committee's meeting.	QEを申請する年次終了時までにすべての必修科目を含めて 35 単位以上修得見込。 By the end of the academic year when applying for QE, students are expected to earn a minimum of 35 credits, including those for all the compulsory subjects.	生命医科学と理・工・情報学のいずれかを駆使した学際的な研究計画 As part of the QE application package, students must submit a research proposal including bi-disciplinary study between biomedical sciences and physical sciences/engineering/informatics.	4月28日又は10月28日 (当日が土曜日又は祝日の場合は、その前日) All the required application materials of the QE shall be submitted by April 28th or October 28th of each year. (The preceding day in the case where the day falls on Saturday, Sunday or holidays.)	QE専門委員会(主査1名、副査2名を含む3名)による審査。書面審査及び適性試験(QE)における研究計画の発表、質疑応答により実施する。 合否についてはプログラム運営委員会で決定。 The QE Committee (composed of 1 chair and 2 other members) shall assess the written research proposal and the oral presentation including Q&A session in the QE. A pass/fail result of the QE shall be determined at Humanics Steering Committee's meeting.	合格者のみが博士論文を提出することができる。 Those who have passed the QE will be eligible to apply for a doctoral thesis.

一貫制博士課程中間評価実施方法（令和元年度以前入学者用）

研究科	専攻等	中間評価の実施	中間評価の方法	中間評価不合格者に対する指導	申請の条件	要提出物及びその仕様	申請日時	審査方法	その他
人間総合科学研究科	生命システム医学	原則として、第3年次において中間評価を受けなければならない。	中間研究の評価による合否	中間研究報告書を再提出し、随時再審査を申請することができる。	18ヶ月以上在学し、所定の科目について30単位以上修得見込。	中間研究報告書	4月入学者:2年次の3月31日(当日が土曜日又は休日の場合は、その前日)締切 10月入学者:2年次の9月30日(当日が土曜日又は休日の場合は、その前日)締切	専攻中間評価審査委員会(主査1名、副査3名)による審査。中間研究発表会における研究報告及び質疑応答により実施。 生命システム医学専攻運営委員会での決定。	合格者のみが博士論文を提出することができる。
	疾患制御医学	原則として、第3年次において中間評価を受けなければならない。	中間研究の評価による合否	中間研究報告書を再提出し、随時再審査を申請することができる。	18ヶ月以上在学し、所定の科目について30単位以上修得見込。	中間研究報告書	2年次の3月31日(当日が土曜日又は休日の場合は、その前日)締切 (上記までに申請できなかった者:3年次の9月30日(当日が土曜日又は休日の場合は、その前日)締切)	専攻中間評価審査委員会(主査1名、副査3名)による審査。中間研究発表会における研究報告及び質疑応答により実施。 疾患制御医学専攻運営委員会での決定。	合格者のみが博士論文を提出することができる。

一貫制博士課程中間評価実施方法（令和元年度以前入学者用）

研究科	専攻等	中間評価の実施	中間評価の方法	中間評価不合格者に対する指導	申請の条件	要提出物及びその仕様	申請日時	審査方法	その他
グローバル教育院	ヒューマンバイオロジ学位プログラム	原則として、第2年次において中間評価を受けなければならない。本プログラムの中間評価は、「第一次適性試験」(QE1と呼称)として行う。 In the second year of the program, in principle, students must take the interim assessment as the Qualifying Examination 1 (QE1).	書面審査及び口頭発表と口頭試問による可否 The QE1 shall be assessed by the contents of a research or business proposal; and the performances of a public oral presentation and its Q&A session.	プログラム運営委員会において検討する。 Advice and support for unsuccessful QE1 applicants must be considered and discussed at the HBP Steering Committee's meeting.	2年次終了時まで、60単位以上を修得見込。必修科目はヒューマンバイオロジ研究Ⅲを除き、修得見込。 By the end of the second year, students are expected to earn at least 60 credits. All required courses except Special Practice in Human Biology III should be completed.	3年次以降に行う学位論文研究計画書または企画書1部 As part of the QE1 application package, students must submit a research or business proposal for the Ph.D. thesis to be further improved in the third year and beyond.	2年次10月末締切 All the required application materials of the QE1 shall be submitted by the end of October in the second year.	QE1実施委員会(主査1名、副査2名を含む3名以上)による審査。第一次適性試験(QE1)における研究計画の発表及び質疑応答により実施する。 プログラム運営委員会での決定。 The QE1 Committee (i.e. 1 chair and 2 other members) shall assess the public oral presentation and Q&A session in the QE1. A pass/fail result of the QE1 shall be determined at HBP Steering Committee's meeting.	合格者のみが博士論文を提出することができる。 Those who have passed the QE1 will be eligible to apply for a doctoral thesis.
	エンパワーメント情報	原則として、第2年次において中間評価を受けなければならない。本プログラムの中間評価は、「博士論文研究基礎力審査」(QEと呼称)として行う。	書類審査、口頭発表及び面接試験による可否	不合格の事由を解消して再審査を申請するよう指導する	①所定の科目について30単位以上修得見込 ②達成度評価の自己点検において、項目1～4が最終達成度審査満点の40%以上に到達	特定課題研究報告書	1月	修士(人間情報学)学位論文審査委員会が設置する専門委員会(主査1名、副査2名以上)による審査。特定課題研究の審査及び面接試験により実施。 プログラム運営委員会及びグローバル教育院会議での決定。	3年次編入学者で、他の大学院等において修士の学位を取得した者、またはQEに合格した者は、中間評価に合格したものとして扱う。 平成30年度以降の入学者については、QEに合格した場合に修士の学位を授与する。

一貫制博士課程中間評価実施方法（令和元年度以前入学者用）

研究科	専攻等	中間評価の実施	中間評価の方法	中間評価不合格者に対する指導	申請の条件	要提出物及びその仕様	申請日時	審査方法	その他
グローバル教育院	ヒューマニクス学位プログラム	原則として、2年次末までに中間評価を受けなければならない。本プログラムの中間評価は、「適性試験」(QEと呼称)として行う。 By the end of the second year of the program, in principle, students must take the interim assessment as the Qualifying Examination (QE).	書面審査及び口頭発表と口頭試問による合否 The QE shall be assessed by the contents of a research proposal; and the performances of oral presentation and its Q&A session.	プログラム運営委員会において検討する。 Advice and support for unsuccessful QE applicants must be considered and discussed at the Humanics Steering Committee's meeting.	QEを申請する年次終了時までにすべての必修科目を含めて 35 単位以上修得見込。 By the end of the academic year when applying for QE, students are expected to earn a minimum of 35 credits, including those for all the compulsory subjects.	生命医科学と理・工・情報学のいずれかを駆使した学際的な研究計画 As part of the QE application package, students must submit a research proposal including bi-disciplinary study between biomedical sciences and physical sciences/engineering/informatics.	4月28日又は10月28日（当日が土曜日又は祝日の場合は、その前日） All the required application materials of the QE shall be submitted by April 28th or October 28th of each year. (The preceding day in the case where the day falls on Saturday, Sunday or holidays.)	QE専門委員会(主査1名、副査2名を含む3名)による審査。書面審査及び適性試験(QE)における研究計画の発表、質疑応答により実施する。 合否についてはプログラム運営委員会で決定。 The QE Committee (composed of 1 chair and 2 other members) shall assess the written research proposal and the oral presentation including Q&A session in the QE. A pass/fail result of the QE shall be determined at Humanics Steering Committee's meeting.	合格者のみが博士論文を提出することができる。 Those who have passed the QE will be eligible to apply for a doctoral thesis.